



南小ホームページQRコード

7月に入りましたが、雨の日が続いていますね。そんなむし暑さの中でも、元気に登校し、毎日一生懸命活動する子どもたちに、職員もまた、元気をもらっています。

今月のテーマ

「話すこと」に困り感をもつ児童について



今月は「話すこと」について、お伝えします。

「話すことが苦手」「恥ずかしい」「何と言っているかわからない」など「話すこと」に苦手意識をもった子どもたちがいます。「話す」とき、人はいろいろな部分を使っています。目や耳から情報を得、その情報に対して、自分の思いや考えを頭の中でまとめ、口を使って表出します。これらの部分に、何かしらの原因があり、「話すこと」に困り感をもっている子どもがいます。

○発音がうまくできない。

- ・「サカナ」を「タカナ」「チャカナ」等と言い、発音に誤りがある。
- ・発音がはっきりしない。

○話すときに、言葉がなめらかに出不い。

- ・詰まったり、同じ発音を繰り返したり、引き延ばしたりする。

○言葉の発達が遅れている。

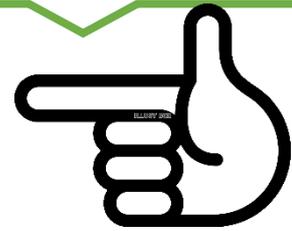
- ・使える語い数が少ない。
- ・言葉がうまくつながらず、会話のやり取りが成り立たない。

○きこえに困り感があるため、言葉の発達が遅れている。

- ・発音に誤りがある。
- ・知っている言葉が少ない。

左のような、心配は

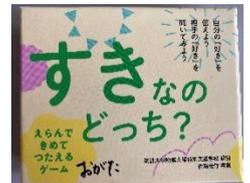
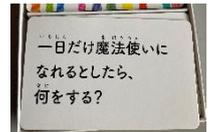
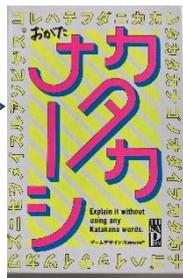
ありませんか。



子どもたちの困り感に早く気づき、手立てをとったり、支援を行ったりすることで、安心して学習したり、生活したりすることができます。「私はできない。」と子どもたちが自信をなくす前に、気付いてあげることができる大人でありたいものですね。

緒方のおすすめカードゲーム★

“アナウンサー”をカタカナを使わずに話す？
“どこでもドアがあったらどこに行きたい？”
思わず考えて話したくなるカードゲームです。



***来月のテーマは、『見ること』に困り感をもつ児童についてです。



とひとつ

つぶやきコーヒー



…じつは子どもって、実は世の中の出来事を
冷静に見る力がある！

私が、以前担任したいくちゃん（小学5年生の男の子）のお話です。

ある日のスピーチタイムでの出来事です。その日の選んだお題は「もし1つだけ、願いがかなうなら」でした。いくちゃんは、しばらく考え込んでいました。トラック大好き、生き物大好きないくちゃんですので、私は「トラックを運転してみたい！」「クジラと一緒に泳いでみたい！」などの言葉を予想していました。

しばらく沈黙の時間が流れ、いくちゃんから出てきた言葉です。

「世界中からコロナがなくなってほしい。」

その言葉を聞いて、私は胸がジーンとなりました。もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。5類に引き下がったとはいえ、まだまだ油断はできません。いくちゃんの願いのように、誰もが安心できる世の中になりますように☆☆☆